

# 2000 誌

N I S E N S H I

KAGOSHIMA ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF YOUTH GROUP

NISENSHI vol.50 2023 spring

2023年3月31日発行

発行：一般社団法人鹿児島県建築協会青年部会

050 / 第50号



□ 「志学館大学 40 周年記念館新築工事」 鹿児島市紫原1丁目 竣工：2022年3月28日 - 内村建設株式会社

## REPORT

## 活動報告

## CONTENTS

- 令和5年鹿児島県 青年団体新春の集い
- 2022 かごしま住まいと建築展

- ▶ 経営者講習会 ～残業上限規制について～
- ▶ WEB 発信セミナー ～現場における最新機器について～
- ▶ 現場見学会 ▶ 学生との交流会 ■ ボランティア活動
- ・ 部会長ご挨拶 部会長 重留 巧治 ・ 卒会者ご挨拶 (株) 木落建設 木落 孝作

## 02

### REPORT

#### 2022 かごしま住まいと建築展

コロナの影響もあり開催が中止になっておりました、かごしま住まいと建築展が3年ぶりにかごしま県民交流センターにて開催されました。10月22日(土)・23日(日)の2日間ブース出展を行い、鹿児島工学院専門学校の生徒の作品の展示や、地鎮祭(神事)のお供え物や儀式の説明等を行いました。

また、23日(日)には鹿児島工学院専門学校、鹿児島県立短期大学、鹿児島工業高等学校の生徒さんと我々青年部会とで交流会を行いました。

建築への憧れや不安など色々な意見が飛び交い学生の皆さんも将来について希望を持たれ、我々も将来を担う若者の考えや企業に求めるものなどが分かり、実りある時間を過ごせました。



## 01

### REPORT

#### 令和5年鹿児島県 青年団体新春の集い

令和5年1月26日(木)、ホテルマイステイズ鹿児島天文館棟1・2にて令和5年鹿児島県青年団体新春の集いを行いました。

4年ぶりの開催となる今回は、鹿児島県建設業青年部会、(一社)鹿児島県建築士事務所協会青年部会、(公社)鹿児島県建築士会青年部会、鹿児島県電気工業組合青年協議会の4団体の方々にも御参加いただき29名が集まりました。

今回ご出席いただいた他団体の方々との活動報告等もしていただきました。建築に関わる相談をさせていただいたり、各団体が地元の為に様々な活動をしている事などの報告を受け、非常に刺激がある会となりました。今後の我々の活動に生かすと共に、以後団体間で協力し合い、業界全体及び鹿児島県全体を盛り上げるようにしたいと思っております。



活動報告

03

経営者講習会



■ 経営者講習会

令和4年9月16日(金) ホテルマイステイズ鹿児島天文館にて経営者講習会を行いました。今年度は、2024年に建設業へも適用される「残業上限規制について」をテーマとし、社会保険労務士・行政書士法人 E M a g e n c y 代表・松田将紀様に講習をしていただきました。働き方改革が取りざたされている中で、経営者側として、どのような対応を取るべきか、基礎知識の部分から法改正の概要など細かくご説明をいただきました。残業上限規制については、コンプライアンス上はもちろん、雇いや給与に影響するため、会社経営において重要な内容であり各人興味深く聞かせていただきました。様々な事例を紹介していただきながら、繁忙期と閑散期の労働時間の配分や長時間労働のリスクなどご教授いただきました。会員及びOBの23名の参加をいただき、今後の対応について理解が深まった講習会となりました。

04

WEB発信セミナー



■ 最新機器の説明



■ WEB発信セミナー

令和4年12月21日(水) 建築協会会議室にて、毎年開催しているWEB発信セミナーを行いました。今年度は「現場における最新機器について」をテーマとし、太陽建機レンタル株式会社、株式会社久永、株式会社シヨージの3社をお招きし現場での人手不足解消のお役立ちできるような機器の説明を行いました。自動墨出し機を始め、作業員一人でも測量の出来る機器や現場管理の際の写真や図面等をクラウドを用いて共有できるソフトなど商品会場に準備し説明や実演をしていただきました。会員やOB・会員企業の従業員の23名に参加していただき、最新の機器に触れ現場での活用性について検討していました。

05

現場見学会



■ 現場見学会



■ シールドトンネル工事現場を見学

令和5年3月17日(金)、「鹿児島東西道路」現場見学会を開催しました。今回、大成・大豊特定建設工事共同企業体様のご協力により、九州では初めての特殊なシールドトンネル工事を見学することができました。土木の工事にはなりますが、なかなか見る機会が少ない特殊な工事ですので、会員の皆さんも興味を持って見学していました。直径11.38メートルのシールドは、防音された作業場で組み立てるため、とてもダイナミックで圧巻の現場でした。また、交通量の多い、近隣との距離が近い街中の工事ということで、安全、騒音などの近隣対策の苦労があるようでした。建築の現場にも通じるところも多く、建設業の最新技術を学ぶいい機会となりました。

06

学生との交流会



■ 鹿屋工業高等学校の皆さんと



■ 鹿児島工業高等学校の皆さんと

令和5年2月15日(水) 鹿児島工業高等学校にて、2月24日(金) 鹿屋工業高等学校にて、訪問型の学生との交流会を開催しました。2部構成で行い、1時限目は実際に建築業で働いている当委員会メンバーのプレゼンを聞いてもらい、2時限目は鹿児島工業高等学校では参加会員全員による質疑応答の場を設けました。また、鹿屋工業高等学校での2時限目は、大工さんによる墨付け体験を行いました。実際に当日は、活発な意見交換の場になり、日々の業務内容や、やりがい等の魅力に直接触れてもらうことができ、今後の進路決定の参考の場になったと思います。

OTHERS

GREETING

ご挨拶



一般社団法人鹿児島県建築協会青年部会  
 部長 重留 巧治 株式会社重留建設

■ 一年を振り返って

青年部会部長を務めさせていただき、あっという間に1年が過ぎようとしています。今年度も青年部会員はもとより、多くの皆様のご協力により様々な事業を開催できたと実感しております。心から感謝申し上げます。

会員や会員企業が青年部会活動に参加して良かったと思える研修をはじめ、建築業界の発展へと繋がる事業、県内の青少年育成として学生へ建築の魅力伝える事業、団体だから可能な県内同業団体との交流、そして会員同士の親交を深める会員交流会など、この一年、本当に多くの事業を行うことが出来ました。特に会員向けの研修では、会員だけではなく青年部会OBの多くの参加をいただけたことは、タイムリーで魅力的なテーマで研修が出来たのではないかと考えております。各委員会ですっきりとテーマについて話し合い、研修内容や運営方法などの議論を重ねた結果だと嬉しく思います。

これからも私ども青年部会は、活発かつ有意義な青年部会活動になるよう取り組んでまいりますので、会員ならびに関係各位の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■ ボランティア活動

令和5年1月26日(木)、天文館周辺を中心にボランティア清掃を行いました。会員25名が参加し、青年部会設立当初より『地域社会への貢献』を主な活動としております。

清掃中もお声掛けをしていただけたりと大変やりがいがありました。年々、ゴミの量も減ってきており地域の方々の日頃の清掃が行き届いているのと、通行人のマナーの改善を感じられました。

今後ともこの活動を継続していきますのでご理解とご協力の程宜しくお願い致します。



卒会者よりご挨拶



株式会社 木落建設  
 木落 孝作

お陰様で鹿児島県建築協会青年部会を3月末にて卒会する事になりました。14年近い活動の中で部長も務めさせていただきましたが、改めて当時の役員や会員の皆様のご協力に感謝いたします。

当時の活動の中で特に印象深いのは訪問型の学生との交流会です。今では様々な団体にて活動しておりますがその当時はあまりなく今現在でも継続事業として続いている事が会に少しは貢献出来たのかな?と思います。特にその当時の担当委員長様(現部長)お世話になりました。

最後になりますが現会員の皆様、青年部会という貴重な時間を大切に積極的に活動して下さい。その努力がきっと将来の糧になるはず。青年部会の皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。本当にお世話になりました。ありがとうございました。